

○事業名：アニメ脚本と脚本家のデータベース構築

○団体名：一般社団法人 日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム

○事業概要

1. アニメ脚本等の現物に関する事業——アニメ脚本資料の散逸防止の必要性

日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムでは、平成17(2005)年から放送番組の脚本を中心に収集し、脚本のデータベース作成を実施している。収集した脚本資料にはアニメーション(以下アニメとする)関連資料が約5%含まれている。アニメ脚本に関してはメディア芸術分野の資料と共に保管およびデータベース化される可能性を考え、平成29(2017)年度より本事業を企画し「アニメ脚本と脚本家のデータベース構築」をおこなっている。

脚本はアニメ制作の設計図となる貴重な資料であるが、長期保存を予定していないため紙質が悪く、ガリ版印刷のものも含まれ、インクの退化など劣化が激しい。出版物ではない脚本は、発行部数は少なくスタッフや制作会社を中心に保存されるのみで、転居などにより散逸消失する危険が大きい。現物収集およびデジタル化作業は必要かつ緊急性を有する。

現在までに収集したアニメ脚本・資料は9,680件(コピー台本、ポスター、絵コンテ含む)。作品数は約570タイトルに及ぶ。

本事業では、収集した資料の書誌情報を「アニメ脚本と脚本家データベース」としてWebで公開している。<http://animedb.nkac.or.jp/> 令和3(2021)年度、モバイル版の公開も行なった。

【TOPページ】

The screenshot shows the homepage of the 'アニメ脚本と脚本家データベース' (Animedb) website. At the top, there is a search bar with placeholder text '検索するキーワードを入力' (Enter search keyword) and a magnifying glass icon. Below the search bar are two checkboxes: '検索結果を含む' (Include search results) and '検索結果を表示' (Display search results). The main content area is divided into several sections:

- 分類で探す込み**: Includes categories like '原稿' (Original manuscript) [144], '脚本' (Script) [833], and '音楽' (Music) [833].
- メディアで探す込み**: Includes categories like 'テレビ' (TV) [599], '映画' (Movie) [44], '原作' (Original work) [4], and 'ビデオ・DVD' (Video/DVD) [158].
- 年代で探す込み**: Includes categories like '1960年代' (1960s) [144], '1970年代' (1970s) [147], '1980年代' (1980s) [147], '1990年代' (1990s) [1663], '2000年代' (2000s) [1132], and '2010年代' (2010s) [1244].
- ジャンルで探す込み**: Includes categories like 'アクション' (Action) [8515], '恋愛' (Romance) [181], and '魔界アニメ' (Mokurei anime) [44].
- お問い合わせ**: A section for inquiries, featuring a message: '本コンソーシアムでは、脚本・脚本の一部公開を行っておりませんのでご了承ください。当サイトについてのご質問など、気軽に問い合わせて下さい。メールアドレスまでお問い合わせ下さい。' and contact information: '一般社団法人 日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム' and 'http://www.nkac.or.jp/ nkac@nokkyo.jp'.
- 会員登録**: A section for members, showing a list of members with their names and profile pictures: '辻真先', '辻木良美', '辻田尚弘', '柏原真紀', '西下喜一郎', '西下喜一郎', '三石達子', '山田雅也', '石谷史郎', and '東近井美'. Below this is a note: 'このデータベースは文化省の『平成29年度文化芸術継承賞受賞者アーカイブ推進事業』に採択され制作・公開しております。' and a link: 'http://www.mext.go.jp/stf/culture/arts/awards/awards/awards.html#平成29年度'.

2. アニメ脚本資料の劣化・消滅防止に関する事業——デジタルと証言保存の必要性

① デジタル化保存の必要性

【サムネイル用・表紙のデジタル化例】



昭和期の脚本は紙質も悪く劣化が激しく、黄ばみ、酸化、カビ跡も多い。ガリ版印刷のためインクの退化の危険もある。

脚本の中には、企画意図の記載のほか主題歌の歌詞が記載されているものもある。

一方、キャストやスタッフの記載は少なく調査が必要となる。

絵コンテや直しの書き込みがある脚本も多い。

② 脚本家の証言・著作権典拠の必要性・緊急性

アニメ史の継承のため、テレビアニメ草創期の脚本家やスタッフからの証言は大変重要である。作家の高齢化に伴い、貴重な証言録取、公開は喫緊の課題である。

また脚本家は多くの筆名を持ち全てを把握できていない場合もある。著作権者の把握は作品の二次利用にも有益であり、著作権の典拠資料としての意味も有する。



※ペンネーム例

脚本家・五武冬史氏（ペンネーム）

本名・鈴木良武氏の名前でも多くの作品を執筆している。

3. アニメ脚本データベース構築・発信準備事業——アニメ脚本データベース構築の必要性・緊急性（非常時の文化政策の有用性）

アニメに関する関心は高くデータベース化、国際発信の需要が高まっている。

しかしアニメ動画については、映像、原作マンガとの関係、声優、音楽など権利が複雑に絡んでおりデータベース上での公開が難しい。一方、アニメ脚本については、原作者・脚本家の了承によりデータベース公開が比較的容易である。あらすじを作成して加えることで、新たな著作物として権利関係もクリアできる。

データベースの公開は、著作権専門事例を多く手掛ける弁護士・福井健策氏の監修を受けて行っている。

令和1(2019)年10月の台風による川崎市市民ミュージアムの被害のほか、新型コロナウイルス禍のような非常事態においても、資料のデジタル保存およびオンライン利用による文化発信は有用性が高いと考えている。

本事業の「アニメ脚本と脚本家のデータベース」では、収集した資料の書誌データをWeb公開している。データベース掲載件数8,579件（複本除外）。英語版も公開している。

日本語と英語の切り替えは、サイトの右上の「日本語」「English」の選択ボタンで簡単に表示できる。Wikipediaを自動的に表示する機能をついている。

【詳細ページ/日本語】

アニメ脚本と脚本家のデータベース

検索するキーワードを入力

検索結果

SAIBOGU009
太平洋の亡命

作家	辻真先
原作	黒木王
脚本家	石ノ森章太郎
放送日	[1968/3/21]
放送回	10
演出/監督	荒川修二
かね	サイボーグ009
ローマ字	SAIBOGU009
分類	日本
メディア	テレビ
ジャンル	アニメ
収録先	吉澤原官中

『サイボーグ009』 売先: 漢國源一郎、石ノ森章太郎が1960年代に『少年サンデー』で連載を始め、人気を博し、その後、東映劇場によって映画版(モノクロ)として制作されたのが映画化される。物語は不思議年、島村ジヨード少年院から民衆した母、井出利義を助む「ブラック・ゴースト団」によって捕らえられ、サイボーグとして改造される。『ブラック・ゴースト団』が改造したサイボーグは金剛「009アンバー」で呼ばれ、ショウを宮にて金剛で名づけられた。魔も人間もハバハバに躍出され、それそれに異なった能力をもさうとする。過去が改造された自分が世界を救ったことで、自分たちが武器として使用される事に抵抗を感じ、ギンモア博士を雇用して『ブラック・ゴースト団』から逃げ出し、世界制覇を止める事を決意する。「009アンバー」のサイボーグ戦士は自分の力が強くなるのか、人間たるかという苦悩を抱えながら、「ブラック・ゴースト団」と戦いを続けるストーリーが描きの元をもて、その後はテレビリメイクされ、リメイク版も数多く作られる。和語の外音をもたず、原作者である石ノ森章太郎が亡くなり、現在でも売却が工作として、各時代に見合った方法で映画化されたりノベライズになったりと様々な媒体で現在に至るまで繰り返し制作されている。今後も新しい形での作品は常に世の中の動向には必ず影響してくれるだろう。

【詳細ページ/英語】

Anime-Screenplay and screenwriter database

Input search words..

enable synonym

SAIBOGU009

Writer	TSUTU Masaki
On Air date	[1968/3/21]
Broadcasting times	16
Reading	10
Classification	Script
Media	TV
Genre	Animation
Transfer destination	Stored in warehouse

『サイボーグ009』 (サイボーグゼロゼロ九) は、石ノ森章太郎による日本のSF漫画。 Wikipediaに登録

由来: Wikipedia
ライセンス: CC-BY-SA
記事の最終更新日: 2023/08/24 01:11:55

Synopsis

『サイボーグ009 (Cyborg 009)』は、 remarkably talented cartoonist, Shitaro Ishinomori, started to publish the series in Shonen Sunday in the 1960s, and gained popularity. Later, a movie version (monochrome) produced by Tezuka Productions was released. The story starts when Jo Shimamura escapes from a juvenile detention center, and is converted into a cyborg after being caught by the Black Ghoul Group which conspires to dominate the world. All cyborgs created by the Black Ghoul Group are called "Number 009", and there are nine of them including Jo; they are selected from various countries and races and are individually given different abilities. Since knowing they have been converted into cyborgs for the purpose of dominating the world they feel resistant to being treated as weapons, so they run away from the Black Ghoul Group with Dr. Gilmire as a leader, and decide to stop their domination of the world. The story about cyborg masters numbered 009 continuing to fight with the Black Ghoul Group while anguishing over whether they are machines or humans appealed to young people and was later serialized for TV, and many remakes have been made. Before concluding the story, the original author Shitaro Ishinomori died, so this story is still on serialized or novelized as an incomplete masterpiece in a way that this era can. It has been repeatedly produced by various media to the present date. This work will always end surely be remade at turning points in the world in a new form in the future.

The information in () is reference information by our group's own survey, and it is not what is described in the original of the bibliography.
Regarding movies and plays, the description of the broadcast date column is "Publication Date". Please

4. 活用・発信の連携体制による社会的効用

①Japan Content Catalog (JACC®)との連携／ジャパンサーチへの参加

書誌データは、映像産業振興機構（VIPO）が運営するJACCサーチと連携し、国際発信を行っている。また、JACCサーチを通じ、ジャパンサーチにも書誌データの提供公開を開始。様々な分野を横断検索することで、需要の高いアニメ資料情報の海外発信が可能となる。

②教育活用・社会活用

・子どもの創作活動を目的とした教育活用

例: 「ワンミニット・ムービー」はiPadを使って、写真などをパラパラ動画編集し、1分間の映像をつくるワークショップ。<https://1min.work/>



- ・中高年向けの「回想法」にアニメ脚本を活用する企画を検討
- ・放送ライブラリー（横浜）の主催によるミニ展示

<https://www.bpcj.or.jp/>

放送ライブラリー内の展示スペースに、テーマを決め 3 か月ごとに二十数冊の脚本を展示。
展示作品の説明文を冊子にして配布している。

【アニメ脚本の展示例】

「懐かしのテレビアニメ」（2020 年 1 月～6 月 ※コロナ禍のため途中休館期間を含む）



【特撮脚本の展示例】

「特撮ヒーロー 光の国から永遠に・・・！」（2022 年 1 月～3 月）



【事業の流れ】

『アニメ脚本・脚本家データベース』概要図

